

コンクリート構造物の予防保全に

シラン系表面含浸材

RPプロテクションS

「RPプロテクションS」はシランを主成分とした表面含浸材です。コンクリート表面に塗布することでコンクリート中に浸透し躯体表層に吸水防止層を形成します。コンクリートの劣化要因である水や塩化物イオン等の侵入を抑制し、コンクリート構造物を塩害・ASR等から保護します。

製品の特長

- 塩害の抑制
塩化物イオンの侵入を防ぐため、塩害を抑制します。
- 凍害の抑制
透水・吸水を低減する為、凍結融解による劣化を抑制します。
- ASRの抑制
水蒸気透過性に優れるため、ASRを抑制します。
- 外観
コンクリートの外観を変化させない為、躯体の確認を目視で行えます。

JSCE-K 571-2013 表面含浸材の試験方法に基づく性能評価

試験場所：一般財団法人日本塗料検査協会

試験項目		試験結果
外観観察試験	目視観察結果	含浸による外観変化がない
含浸深さ試験	含浸深さ	5.5mm
透水量試験	透水比	12%
吸水率試験	吸水比	9%
透湿度試験	透湿比	71%
中性化に対する抵抗性試験	中性化深さ比	78%
塩化物イオン浸透に対する抵抗性試験	塩化物イオン浸透深さ比	0%

土木学会 表面含浸材表面保護工法設計施工指針（案）

外観変化および含浸深さのグレード・劣化要因に対する性能のグレード

評価項目		評価結果	グレード
外観変化		含浸による外観変化なし	NC
含浸深さ		5.5mm	IS
透水に対する抵抗性	透水抑制率	88%	A
吸水に対する抵抗性	吸水抑制率	91%	A
透湿性	透湿比	71%	B
中性化に対する抵抗性	中性化抑制率	22%	B
塩化物イオン浸透抵抗性	塩化物イオン浸透抑制率	100%	A

株式会社レゾナック建材

適用部位

■コンクリート構造物（橋梁・トンネル・擁壁など）

塗布量・塗布回数

■塗布量：0.2 ℓ/m²（0.18kg/m²） ■塗布回数：2回

荷姿・性状

■15kg/缶・3kg/缶 ■比重：0.88 ■外観：無色透明液体

施工フロー

下地処理

コンクリート表面の清掃をしてください。施工面の状況が健全であることを確認してください。高圧洗浄処理をして施工面が湿潤状態の場合は乾燥させ、含水率5～8%であることを確認してください。

含浸材塗布（1回目）

RPプロテクションSをローラー・刷毛・噴霧器などを用いて1回目（0.1 ℓ/m²）を塗布（噴霧）してください。

含浸材塗布（2回目）

1回目塗布60分経過後に指触で乾燥確認し、2回目（0.1 ℓ/m²）を塗布（噴霧）してください。

養生

施工後4時間は雨露にかからないようにしてください。降雨が予想される場合はシート等で養生をしてください。

【施工上の注意】

- ◇気温が5℃以下35℃以上、湿度が85%以上の場合は施工を中止するか、適当な施工改善処置を行ってください。
- ◇施工中及び施工後、乾燥前に降雨・降雪の恐れがある場合は施工を中止してください。
- ◇取り扱い時は保護具（保護手袋・保護メガネ・保護マスク等）を着用してください。

【応急処置】

- ◇吸引した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ◇皮膚に付着した場合：直ちに多量の水で洗い流してください。皮膚刺激が続く場合、医師の診断を受けてください。
- ◇眼に入った場合：直ちに瞼を開いた状態で、多量の水が必要な場合は洗浄液を用いて5分以上洗いながしてください。不快感が続く場合は、医師の診断を受けてください。
- ◇飲み込んだ場合：水で口をすすいでください。被災者に多量の水を少しずつ飲ませてください。直ちに医師の診断を受けてください。

【保管上の注意】

- ◇凍結や直射日光を避けるために必ず室内（5℃～40℃）に保管してください。
- ◇購入した製品は6ヶ月以内に使い切ってください。

【輸送上の注意】

- ◇運搬に際しては内容物の漏れがないことを確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。

【廃棄上の注意】

- ◇使用済みの内容物や容器については、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。

【データ等記載内容についてのご注意】

- ◇記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値等に基づくもので保証値ではありません。
- ◇ご使用に際しては、事前にテストを行い、使用目的に適合するかを確認してください。

記載内容は2024年1月現在のものです。製品改良のため断りなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

取り扱い前に「施工要領書」をご確認ください。また安全上の注意事項の詳細については「SDS」をご参照ください。